



沖縄地区税関 管内貿易概況（速報） 令和4年1月分

※税関は150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

●今月のポイント

●輸出

・輸出総額は14億88百万円、対前年同月比1.9%減(5ヵ月ぶりの減少)

- ・主な減少品目は「電気機器」(▲99.8%)、「金属鉱及びびくず」(▲58.1%)、「精密機器類」(▲98.3%)
(主な増加品目は「パルプ及び古紙」(2.1倍)、「輸送用機器」(4.8倍)、「一般機械」(23.5%))
- ・国(地域)別構成比は台湾(41.7%)、インドネシア(10.9%)、香港(8.3%)、韓国(6.2%)、オーストラリア(4.9%)

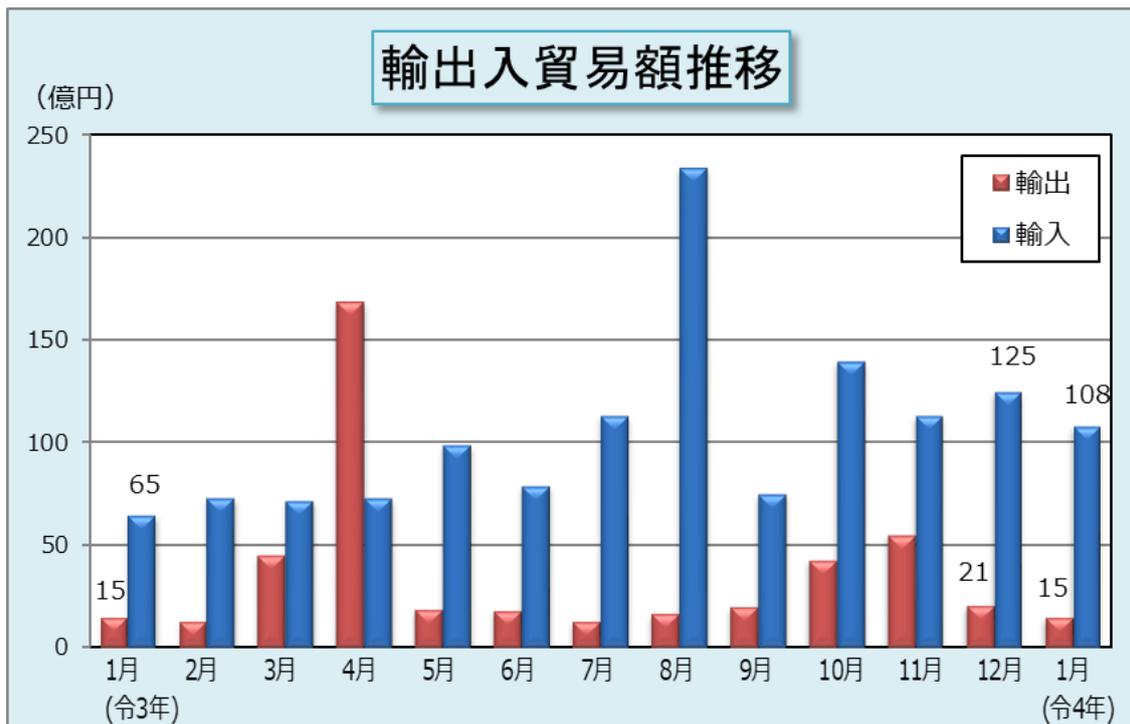
●輸入

・輸入総額は108億3百万円、対前年同月比65.4%増(4ヵ月連続の増加)

- ・主な増加品目は「石油製品」(21.8倍)、「石炭」(75.1%)、「その他の動植物性原材料」(20.0倍)
(主な減少品目は「電気機器」(▲39.2%)、「粗鉱物」(▲92.2%)、「木製品及びコルク製品(除家具)」(▲16.7%))
- ・国(地域)別構成比はオーストラリア(20.2%)、韓国(16.8%)、中国(15.8%)、インドネシア(10.5%)、アメリカ(7.4%)

●差引

・差引額は93億16百万円の入超(前年同月は50億16百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 一般機械 (4億29百万円、23.5%)	28.8%	台湾(2億7百万円、7.5倍) アメリカ(41百万円、▲11.4%)
2 鉄鋼 (2億36百万円、▲18.9%)	15.8%	台湾(2億36百万円、13.7倍)
3 パルプ及び古紙 (2億28百万円、2.1倍)	15.3%	台湾(1億24百万円、2.2倍) インドネシア(57百万円、4.7倍)
4 輸送用機器 (1億33百万円、4.8倍)	8.9%	インドネシア(1億3百万円、全増) アラブ首長国連邦(25百万円、70.5%)
5 飲料 (81百万円、▲12.4%)	5.4%	オーストラリア(37百万円、3.5倍) 台湾(22百万円、▲58.7%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 パルプ及び古紙(+1億20百万円、2.1倍) 台湾、インドネシア</p> <hr/> <p>2 輸送用機器(+1億5百万円、4.8倍) インドネシア、アラブ首長国連邦</p> <hr/> <p>3 一般機械(+82百万円、23.5%) 台湾、中国</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 電気機器(▲1億34百万円、▲99.8%) 中国、シンガポール</p> <hr/> <p>2 金属鉱及びびくず(▲99百万円、▲58.1%) ベトナム</p> <hr/> <p>3 精密機器類(▲64百万円、▲98.3%) シンガポール、韓国</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 台湾 (6億20百万円、3.1倍)	41.7%	鉄鋼(2億36百万円、13.7倍) 一般機械(2億7百万円、7.5倍)
2 インドネシア (1億62百万円、13.4倍)	10.9%	輸送用機器(1億3百万円、全増) パルプ及び古紙(57百万円、4.7倍)
3 香港 (1億23百万円、▲36.5%)	8.3%	肉類及び同調製品(28百万円、▲53.8%) 一般機械(23百万円、▲50.8%)
4 韓国 (92百万円、▲5.5%)	6.2%	金属鉱及びびくず(49百万円、21.2%) パルプ及び古紙(14百万円、▲36.7%)
5 オーストラリア (73百万円、3.9倍)	4.9%	飲料(37百万円、3.5倍) 再輸出品(19百万円、全増)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石炭 (30億65百万円、75.1%)	28.4%	オーストラリア (19億93百万円、74.2%) インドネシア (6億47百万円、21.2%)
2 石油製品 (16億87百万円、21.8倍)	15.6%	韓国 (16億87百万円、242.1倍)
3 肉類及び同調製品 (7億91百万円、16.0%)	7.3%	デンマーク (1億78百万円、▲15.7%) スペイン (1億41百万円、83.2%)
4 その他の雑製品 (4億43百万円、7.0%)	4.1%	中国 (1億55百万円、4.0%) フランス (85百万円、92.5%)
5 穀物及び同調製品 (4億12百万円、2.0倍)	3.8%	タイ (2億2百万円、全増) アメリカ (1億9百万円、38.6%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 石油製品 (+16億10百万円、21.8倍) 韓国</p> <hr/> <p>2 石炭 (+13億15百万円、75.1%) オーストラリア、アメリカ</p> <hr/> <p>3 その他の動植物性原材料 (+3億67百万円、20.0倍) インドネシア、ブラジル</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 電気機器 (▲1億42百万円、▲39.2%) 中国、アメリカ</p> <hr/> <p>2 粗鉱物 (▲58百万円、▲92.2%) フィリピン</p> <hr/> <p>3 木製品及びコルク製品(除家具) (▲44百万円、▲16.7%) マレーシア</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (21億78百万円、79.1%)	20.2%	石炭 (19億93百万円、74.2%) 穀物及び同調製品 (57百万円、3.6倍)
2 韓国 (18億14百万円、12.3倍)	16.8%	石油製品 (16億87百万円、242.1倍) 電気機器 (49百万円、6.1倍)
3 中国 (17億12百万円、21.1%)	15.8%	家具 (3億15百万円、87.9%) 非金属鉱物製品 (1億95百万円、▲13.1%)
4 インドネシア (11億35百万円、67.9%)	10.5%	石炭 (6億47百万円、21.2%) その他の動植物性原材料 (3億50百万円、全増)
5 アメリカ (8億3百万円、14.8%)	7.4%	石炭 (2億85百万円、全増) 穀物及び同調製品 (1億9百万円、38.6%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階
TEL. 098-862-9650



令和4年5月15日に沖縄地区税関は
発足50周年を迎えるワン！

